

第7回心理士講習会

「認知症とともに生きる人への心理臨床的支援；変わりゆく経過とともに」

扇澤 史子 先生（東京都健康長寿医療センター精神科）

【質問】

様々な取り組みをされていてたいへん勉強になりました。ありがとうございました。

参考になる資料をたくさん挙げて下さっており、もし可能であれば、スライドに出た参考文献の詳細のリストがあれば幸いです。今回のご発表の扇澤先生の論文などもあれば教えていただけたらと思います。よろしくお願ひ致します。

【扇澤先生より】

先日は、第7回心理士会を受講いただきありがとうございました。多くの先生方から、温かい感想をいただき、大変励みになりました。お忙しい中、感想をお寄せくださり、感謝申し上げます。

下記に、スライドで取り上げた内容の出典元の参考文献を共有させていただきます。なお、スライド内で学会発表や講演内容を引用したもので、その後、原稿や著書として出版された、あるいは新しい内容のものがある場合には、そちらを優先して紹介いたしますのでご了承いただけましたら幸いです。皆様のご参考になれば幸いです。

以下、参考文献です（アルファベット順に掲載しております）

1. 栗田主一（2015）. 認知症初期集中支援チーム実践テキストブック：DASCによる認知症アセスメントと初期支援. 中央法規出版.（注：栗田（2014）の内容もこちらに含みます）
2. 帯木蓬生（2017）. ネガティブ・ケイパビリティ. 朝日新聞出版.
3. 井藤佳恵, 栗田主一（2010）. 早期診断へのサポート—早期受診が重要な理由と早期に受診しない理由. 薬局, 61（13）3628-3633.
4. 黒川由紀子, 丸山香, 松田修ほか（1999）. 回想法グループマニュアル. ワールドプランニング.
5. 黒川由紀子（2003）. 痴呆ケアにおける心理職の主な役割 日本痴呆ケア学会誌, 2（1）40-45.
6. 黒川由紀子（2004）. 痴呆性疾患に対する心理療法；その可能性と限界. 老年精神医学雑誌, 15（5）483-488.
7. 黒川由紀子（2019）. 高齢者の英知と創造性（特集 高齢者のメンタルヘルス）. 精神医学, 61（1）, 73-80.
8. 松田修（2004）. ライブラリソーシャルスキルを身につけるお年寄りと家族のためのソーシャルスキル. サイエンス社, 東京.
9. 日本神経学会監, 「認知症疾患診療ガイドライン」 作成委員会編（2017）. 認知症疾患診療ガイドライン2017. 医学書院.
10. 西川隆（2010）. Alzheimer病 4）症状と臨床経過. 神経内科, 72（6）77-283.

11. 奥村典子, 藤本直規 (2013). 認知症ケアこれならできる 50 のヒント. 藤本クリニック「もの忘れカフェ」の実践から.
12. 扇澤史子 (2015). 認知症本人とともに考える生活障害へのアプローチ—認知症初期の記憶障害や見当識障害に起因する生活障害を中心に—老年精神医学雑誌, 26 (9), 973-981.
13. (扇澤, 2015 年老年精神医学会ポスター発表) →下記に執筆いたしました.
扇澤 史子, 栗田圭一, 古田光, 他 (2017). 家族介護者が高齢者に物忘れ外来受診を促す理由についての検討 正常範囲. 軽度認知障害および主な認知症の比較 生存科学 28 (1), 163-170.
14. 扇澤 史子, 栗田圭一, 古田光, 他 (2017). 認知症本人による認知機能障害・生活機能障害・行動心理症状についての自覚的体験内容と受診ニーズの特徴 生存科学, 28 (1), 171-177.
15. 扇澤史子 (2018). 第 8 章 4 節 認知症疾患医療センターおよび物忘れ外来での公認心理師の仕事 鈴木伸一・田中恒彦・小林清香・佐藤さやか等 (編) 公認心理師養成のための保健・医療系実習ガイドブック (pp.250-256) 北大路書房.
16. 扇澤史子 (2020). 認知症本人への心理臨床的支援 認知症本人と共に語り合う「私たちが話そう会」の試みとその意義 日本認知症ケア学会誌 19(2), 370-377.
17. 小澤勲 (2003). 痴呆を生きるということ. 岩波新書.
18. 斎藤正彦 (2009). 認知症の非薬物療法をめぐって. 老年精神医学雑誌, 20 (1) 69-73.
19. 斎藤正彦監 (2013). 徴候と対応がイラストでよくわかる家族の認知症に気づいて支える本. 小学館.
繁田先生の引用については, ご講演内容や一般の雑誌 (クロワッサン) の特集号を参考にしましたが, よろしければ最近のご著書をご参照ください.
20. 繁田雅弘 (2020). 認知症の精神療法—アルツハイマー型認知症の人との対話. HOUSE 出版.
21. (高橋, 2010) の出典元は下記の通りです.
Geda YE, Roberts RO, Knopman DS, et al. (2008). Prevalence of neuropsychiatric symptoms in mild cognitive impairment and normal cognitive aging: population-based study. Arch Gen Psychiatry. 65(10)1193-8.
22. 上田諭 (2017). 認知症はこう診る: 初回面接・診断から BPSD の対応まで. 医学書院.